

措置実施状況報告書

令和 5 年度分

会 社 名	風間興業株式会社
代 表 者 名	風間隆二
提 出 年 月 日	令和 6 年 1 2 月

担当連絡先

課・係	総務部
職・氏名	██████████
電話番号	055-265-2353
メールアドレス	██

1 談合事件を踏まえた、会社の経営理念

当社は平成23年4月15日に、笛吹市内を施工現場とする山梨県が発注する石和地区特定土木一式工事について、同業の他社と受注予定者を選定及び決定し受注しやすいようにしていたことが独占禁止法に違反するとして、公正取引委員会から、排除措置命令と課徴金納付命令を受け、それに伴い山梨県から違約金の支払い請求も受けました。この事により山梨県、笛吹市、各自治体、取引業者の各位、従業員やその家族など、関係する多くの皆様に多大な御迷惑、御心配をお掛けする結果となり、このことを重く受止め、皆様に深くお詫び申し上げると共に心底反省し、二度とこのような過ちを繰り返さぬよう会社を挙げてコンプライの徹底に努めます。

その為、コンプライアンスを最優先とする経営の確立、誠実な企業行動により地域とのコミュニケーションを図りながら、当社の経営資源を活かし災害防止や環境整備等の活動を積極的に取り組み、社会や地域の皆様からの信頼を頂ける企業を目指すと共に建設業の模範となるよう精進して参ります。

2 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律に二度と

違反する事ないように自発的に講じた再発防止策の報告

(1) 取組期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

(2) 取組の趣旨

- ア 二度と独占禁止法違反をしないために、会社毎に社内体制を見直し、整備と継続を行う。
- イ 独占禁止法違反となる談合行為は一業者だけの問題ではなく、複数の業者が同時に違反することであるため、建設業界全体で再発防止に取り組む必要がある。

(3) 活動の概要

- ア 当社で法令遵守についての講習会を実施（従業員全員参加）
- イ 再発防止策として独占禁止法違反の疑いがないか監視を行う担当役員を選任し、取締りを行う。
- ウ 笛吹建設業協会における全会員の役員若しくは営業担当者に対する定期的な独占禁止法研修会の実施

(4) 主な活動の詳細

① コンプライアンス研修会

実施日：令和5年6月20日

場 所：笛吹建設業協会会議室

内 容：独占禁止法違反、再発防止策について

参加者：関係企業役員（11名）

効 果：独占禁止法違反と再発防止について理解できた
感想と課題

：前年度に続き、各企業役員が参加し、改めて独占禁止法違反の重大さを理解した。

課題として各企業が周知し、再発防止に取り組む。



② 法令遵守についての講習会

実施日：令和5年8月7日

場 所：本社2F多目的ホール

内 容：独占禁止法違反の再発防止について

参加者：従業員（20名）

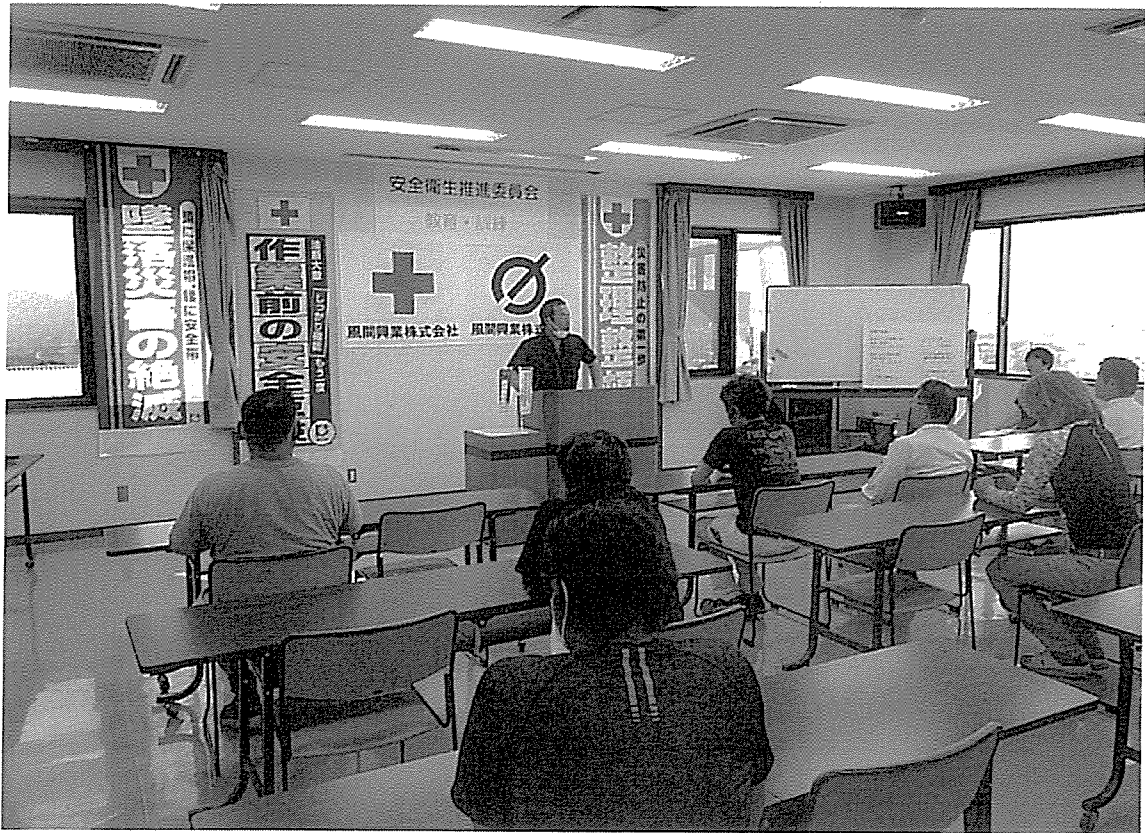
効 果：昨年に引続き独占禁止法の説明及び違反した場合の責任問題、社会的信用性の損失、業界からの排除、経営的な損失、重大性の説明をすることが出来た。

感想と課題

：社会的信用性、経営的な損失、重大性について理解させることができた。

独占禁止法を犯さぬよう取組んでいきたいと思います。

課題として従業員全体に継続して周知させる必要がある。



③ コンプライアンス研修会

実施日：令和5年12月20日

場 所：笛吹建設業協会会議室

内 容：独占禁止法違反、再発防止策について

参加者：関係企業役員（11名）

効 果：独占禁止法違反と再発防止について理解できた

感想と課題

：前年度、前回の研修会に続き、各企業役員が参加し、改めて独占禁止法違反の重大さを理解した。

課題として各企業が周知、従業員等も共に再発防止に取り組む。



(5) 経費の報告

分類	金額 (円)	備考
①の経費	23,800	①の会議の人件費 (23800×1人)
	360	実施会場までの燃料費 (ガソリン)・180×2L
②の経費	476,000	②の会議の人件費 (23800×20人)
③の経費	23,800	①の会議の人件費 (23800×1人)
	360	実施会場までの燃料費 (ガソリン)・180×2L
合計	524,320	

3 峡東地域において自発的に講じた防災・減災への対策に
資する取組報告

(1) 取組期間 令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 3 1 日

(2) 取組の趣旨

地域貢献活動の一環として峡東地域（笛吹）における防災の取組みや
災害時の対応を迅速かつ正確に行い、犠牲や怪我人を減らす取組

災害の分類には地震災害、台風災害、河川氾濫災害、豪雪災害、雪害
が主に考えられ、笛吹地域の特性として、地震、台風、河川、降雪を重
点項目として取組む

(3) 活動の概要

ア 近年、台風の発生回数の増加や台風が大型化、線状降水帯による大雨
により河川が氾濫する可能性が増している。

その為、氾濫の防止や氾濫した際の被害を減らす目的で河川内の伐木
作業及び清掃作業を行う。

イ 過去の災害を参考に災害時に必要となる知識を学べる活動へ参加する

ウ 荒地解消を目的として以前から毎年行政区民が城跡地の伐採除草業務
を行っていた。

しかし、行政区民の高齢化に伴い、業務を継続していくことが難しく
なった為、当社で継続して業務を行う。

エ 降雪時における近隣住宅、商業施設等の駐車場の除雪作業を行い、車
両が出入り出来る状態にする。

オ 災害防止に対する意識向上を目的に現場パトロールを実施する。

カ 防災、減災への対策はもちろん、労働災害を防止する為の教育として
安全大会等を実施する。

(4) 主な活動の詳細

① 安全大会への参加

実施日：令和5年6月27日

場 所：笛吹市一宮町末木921-1（いちのみや桃の里ふれあい文化館）

内 容：（株）飯塚工業主催の安全衛生大会に参加

参加者：従業員（3名）

効 果：現場作業での労働災害防止について再度学ぶことができた。

感想と課題

：他の業者が開催する安全衛生大会に参加したのは初めてで勉強になりました。良かった所は自社でも取り入れてより安全な作業を行えるよう努力していきたいと思います。



② 安全大会への参加

実施日：令和5年7月6日

場 所：笛吹市石和町広瀬765（笛吹建設業協会）

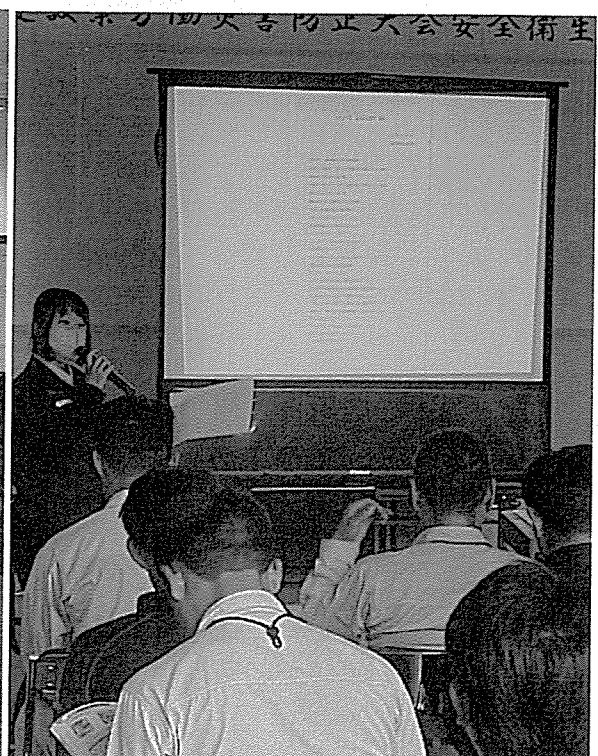
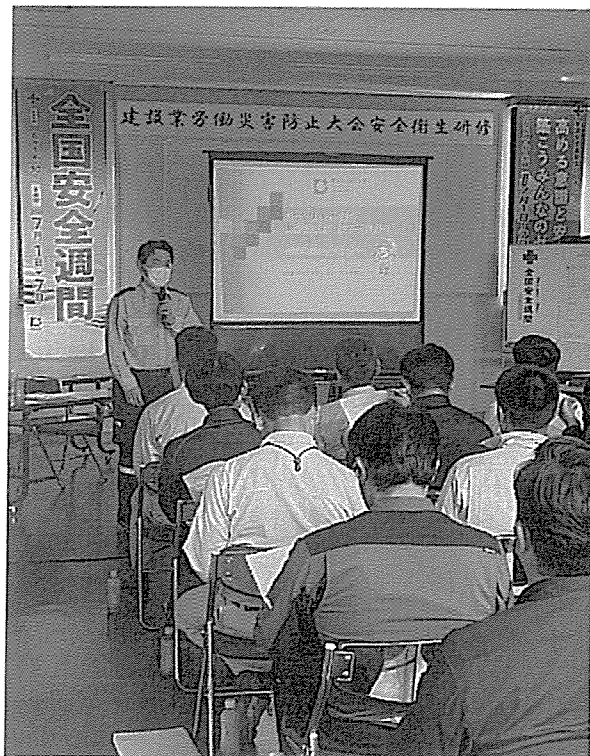
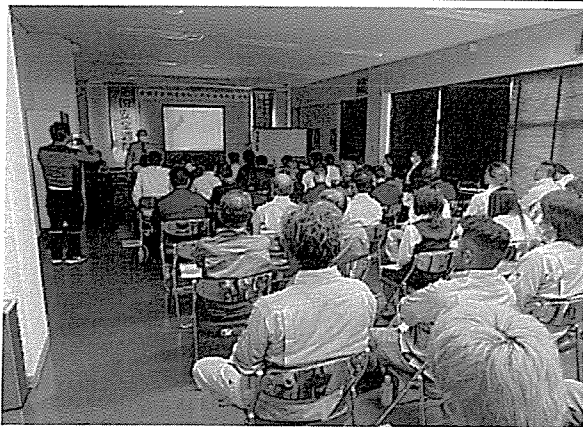
内 容：笛吹建設業協会主催の安全衛生大会に参加

参加者：従業員（5名）

効 果：現場作業での労働災害防止や熱中症対策について再度学ぶことができた。

感想と課題

：安全衛生大会に参加し労働災害防止や熱中症対策について再確認することができた。明日からの現場作業に生かしていきたいと思っています。



③ 現場パトロールの実施

実施日：令和5年7月12日

場 所：笛吹市境川町藤垜地内（名所山左支流治山工事）

内 容：山梨県の職員、建設業労働災害防止協会、笛吹建設業協会員で合同で林務部パトロールを実施した。

参加者：県職員（5名）、笛吹建設業協会員（9名）

建設業労働災害防止協会職員（2名）

効 果：現場作業での危険なポイントや災害防止対策を再確認することが出来た。

感想と課題

：今回、治山工事の現場を巡視することが出来ました。

治山工事の現場は市街地等の工事現場とは違い、山中であることから自然災害の影響を受けやすいと言えます。

作業中の安全対策はもちろんですが、作業中の自然災害にも充分注意し、作業してもらいたいです。

課題として定期的な各現場のパトロールを実施し防災、減災に取組み自社だけでなく建設業者全体で災害ゼロを目指したいです。



④ 河川防災活動への参加

実施日：令和5年9月16日

場 所：笛吹市御坂町金川の森（スポーツの森 治水広場）

内 容：水防への知識共有、建設業の災害時の対応

参加者：従業員（2名）

効 果：過去に起きた河川災害の事例を経験者からお聞きすることが出来
参加者に水防の大切さを伝えることができた。

感想と課題

：過去に起きた河川災害の実体験を聞いたことで、河川災害の危険性や
災害時に緊急対応を行うための資機材の必要性を学ぶことが出来
建設業の役割及び大切さを伝えることが出来ました。

課題として今後もこのような活動に参加し、当社の従業員をはじめ、
地域住民にも周知しなくてはならない。



⑤ 除草業務

実施日：令和5年11月4日

場 所：笛吹市八代町高家地内

内 容：高家小山城公園の除草作業

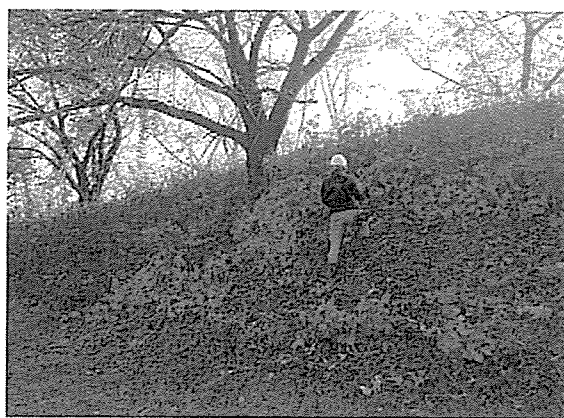
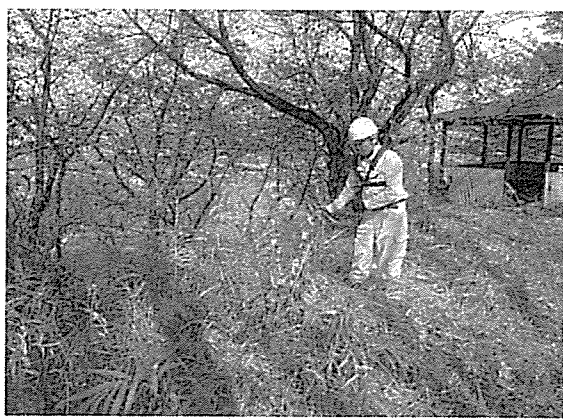
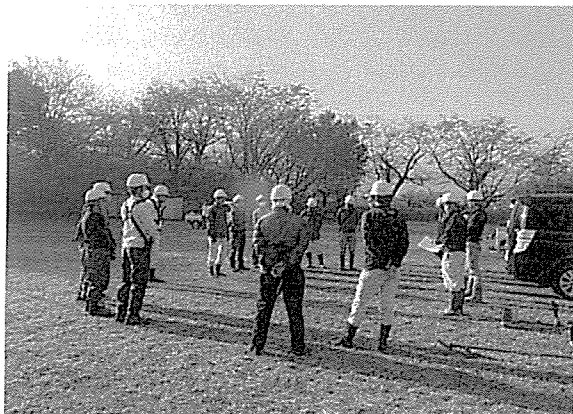
参加者：従業員（20名）

効 果：雑木や雑草を除去し、整備することが出来た。

感想と課題

：毎年同様、雑木や雑草のボリュームが多く大変でした。

区民の高齢化により除草業務を行うことは厳しくなっている為、
課題として区民に代わり毎年除草作業を継続して行う必要がある



⑥ 河川内伐木及び清掃作業

実施日：令和5年12月9日

場 所：笛吹市石和町川中島地内（笛吹川）

内 容：河川内の伐木及び清掃作業

参加者：従業員（16名）、建設機械（1台）

効 果：河川の氾濫原因となる雑木の伐木や清掃が行えた。

感想と課題

：大量の雑木やゴミの回収をすることができ、河川内を整備することが出来た。

この取組みを継続して実行し、河川の環境を整備し続ける必要があると感じた。



⑦ 河川内伐木及び除草作業

実施日：令和5年12月15日

場 所：笛吹市八代町米倉地内（浅川）

内 容：河川内の伐木及び除草作業

参加者：従業員（3名）

効 果：河川の氾濫原因となる雑木の伐木や除草が行えた。

感想と課題

：雑木の伐木や除草ができ、河川内を整備することが出来た。

この取組みを継続して実行し、河川環境を整備し続ける必要があると感じた。



⑧ 駐車場の除雪作業

実施日：令和6年2月6日

場 所：笛吹市芦川町上芦川679-1（芦川農産物直売所 おごっそう家）

内 容：芦川農産物直売所 おごっそう家の駐車場の除雪作業

参加者：従業員（6名）、建設重機（1台）

効 果：近隣住民をはじめ、通行車両等の休憩施設にもなっている施設であり、除雪したことにより休憩所として継続して機能させることが出来た。

感想と課題

：芦川町は標高も高く、降雪時には積雪量が多くなります。

今年も積雪量が多く、除雪完了までに時間がかかりました。

課題として今後の積雪時も迅速な除雪作業を行い、休憩所として機能させ続けなければならない。

2月6日



(5) 経費の報告

分類	金額 (円)	備考
①の経費	71,400	①の業務の人件費・23800×3人
②の経費	119,000	②の業務の人件費・23800×5人
	1,800	実施会場までの燃料費 (ガソリン)・180×10L
③の経費	23,800	①の業務の人件費・23800×1人
	900	現場までの燃料費 (ガソリン)・180×5L
④の経費	47,600	④の業務の人件費・23800×2人
	360	実施会場までの燃料費 (ガソリン)・180×2L
⑤の経費	476,000	⑤の業務の人件費・23800×20人
	60,000	⑤の業務の刈払機のリース料3000×20台
	30,000	⑤の業務の刈払機の燃料代 2500×12缶
	40,000	⑤の業務の刈払機の刃代 2000×20枚
⑥の経費	404,600	⑥の業務の人件費・23800×17人
	60,000	バックホウ0.7m3 (リース) 1台・60000×1台
	30,000	バックホウ0.7m3 1台・回送費
	30,000	チェーンソー (リース)・5000×6台
	8,000	バックホウの燃料費 (軽油)・160×50L
	3,000	刈払機のリース料3000×1台
	17,500	チェーンソー及び刈払機の燃料費・500×35L
⑦の経費	71,400	⑦の業務の人件費・23800×3人
	15,000	チェーンソー (リース)・5000×3台
	9,000	刈払機のリース料3000×3台
	10,000	チェーンソー及び刈払機の燃料費・500×20L
⑧の経費	142,800	⑧の業務の人件費・23800×6人×1日
	15,000	トラクタショベル0.5m3 (リース) 15000×1日
	3,200	トラクタショベルの燃料費 (軽油) 160×20L
合計	1,690,360	

4 雇用の維持、確保、事業の高度化、効率化への積極投資の 取り組みの報告

(1) 取組期間 令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 3 1 日

(2) 取組の趣旨

- ア 若手労働者を始めとする人材不足が顕著となっている建設業において人材の確保や維持は急務である。
その為、説明会や業務見学会を行い、建設業の魅力を学生に伝える。
- イ 現場作業に使用する資機材や工事関係車両を導入活用し、事業の高度化、効率化を図り従業員の業務量を低減する。
- ウ 会社のホームページ作成及びSDGSに取組み、メディアに情報発信を行い、当社の活動を理解してもらい、求人を行う。
- エ 身体障害者や高齢者、農閑期に地域の農家の方々を継続雇用し、人材を確保する。
- オ 従業員の資格取得を支援し事業の高度化を図る。

(3) 活動の概要

- ア 事業の高度化、効率化を行い業務量の低減を行う
- イ 雇用確保を目的に建設業の魅力発信として説明会への積極的参加
- ウ 将来的に建設業で働いてもらえるように業務見学会を実施し魅力を伝える。
- エ 世間に情報発信を行い、雇用促進を図る
- オ 施工管理技士や特別教育等の資格取得を支援し従業員をプロフェッショナルとし事業の高度化を図る。

(4) 主な活動の詳細

① 従業員の資格取得支援

実施日：令和5年5月8日～令和5年5月10日

場 所：建設業労働災害防止協会（山梨県支部）

内 容：会社で費用負担し、現場作業で使用する小型移動式クレーンの
運転についての技能講習を受講した。

参加者：従業員（1名）

効 果：移動式クレーンの技能講習を受講し、操縦方法や安全使用につ
いて学ぶことができ、試験に合格し、資格を取得したことによ
り現場での作業の効率化や高度化を図ることができた。

感想と課題

：技能講習を受け、操縦方法と安全な業務方法を学べた。

これからの現場作業に活かしていきたいと思います。

課題としてこの他の技能講習にも積極的に取り組み個人の保有す
る資格を増やし、事業の効率化や高度化を図る必要がある。

② 従業員の資格取得支援

実施日：令和5年5月9日～令和5年5月11日

場 所：林材業労災防止協会（山梨県支部）

内 容：会社で費用負担し、現場作業時に使用するチェーンソーの操作
及び立木の伐倒方法について特別教育を受講した。

参加者：従業員（2名）

効 果：特別教育を受講し、安全作業及び操縦方法について学ぶこと
ができた。資格を取得したことにより現場での作業の効率化
や高度化を図ることができた。

感想と課題

：特別講習を受け、安全な業務方法及びチェーンソーの操作方法を
学べた。

これからの現場作業に活かしていきたいと思います。

課題としてこの他の特別教育や技能講習にも積極的に取り組み
個人の保有する資格を増やし、事業の効率化や高度化を図る
必要がある。

③ 建設機械を導入し作業の効率化、災害への備えを行う。

実施日：令和5年5月12日

場 所：現場各所

内 容：バックホウ0.15m³を導入した。

参加者：従業員（随時）

効 果：公共工事はもちろん、地域のボランティア活動や災害時等の修繕に対し備えることができた。

感想と課題

：災害は突然起こるものであり、日頃から備えることで2次災害から人命を守れることがあると思います。

これからの現場作業や災害時の修繕に活かしていきたいと思います。

課題として導入した車両のメンテナンスを継続して行い緊急的な災害時等の対応にも備えておく必要がある。

④ 従業員の資格取得支援

実施日：令和5年5月18日～令和5年5月25日（内 6 日間）

場 所：建設業労働災害防止協会（山梨県支部）

内 容：会社で費用負担し、現場で掘削作業時に使用するバックホウ等の建設機械の運転について技能講習を受講した。

参加者：従業員（2名）

効 果：車両系運転の技能講習を受講し、安全作業及び操縦方法について学ぶことができ、試験に合格し、資格を取得したことにより現場での作業の効率化や高度化を図ることができた。

感想と課題

：技能講習を受け、安全な業務方法及びバックホウの操縦方法を学べた。

これからの現場作業に活かしていきたいと思います。

課題としてこの他の特別教育や技能講習にも積極的に取り組み個人の保有する資格を増やし、事業の効率化や高度化を図る必要がある。

⑤ ICT施工に伴う測量機器を導入し作業の効率化、高度化を図る

実施日：令和5年6月30日

場 所：現場各所

内 容：ICT施工に伴う測量機器（3Dレーザースキャナー）を導入した。

参加者：従業員（随時）

効 果：現場で地上型3Dレーザースキャナーを用いて測量及び出来形管理を行うことにより、従来よりも短時間で労力を使わず、より正確な工事を行うことができる。

感想と課題

：公共工事で試行されているICT施工に取組み、より良い工事を行えるよう努力していきます。

これからの現場作業に活かしていきたいと思います。

課題として今回導入した測量機器を使いこなす事業の効率化、高度化を図りたいです。

⑥ 従業員の資格取得支援

実施日：令和5年6月19日～令和5年6月21日

場 所：建設業労働災害防止協会（山梨県支部）

内 容：会社で費用負担し、現場作業で使用する移動式クレーン等に荷を吊るす際に必要になる玉掛けの技能講習を受講した。

参加者：従業員（1名）

効 果：玉掛けの技能講習を受講し、玉掛け業務について学ぶことができ、試験に合格し、資格を取得したことにより現場での作業の効率化や高度化を図ることができた。

感想と課題

：技能講習を受け、安全な業務方法を学べた。

これからの現場作業に活かしていきたいと思います。

課題としてこの他の技能講習にも積極的に取組み個人の保有する資格を増やし、事業の効率化や高度化を図る必要がある。

⑦ 従業員の資格取得支援

実施日：令和5年6月19日～令和5年6月21日

場 所：建設業労働災害防止協会（山梨県支部）

内 容：会社で費用負担し、現場作業時に使用するバックホウ等に解体用アタッチメントを装着した際の操作について技能講習を受講した。

参加者：従業員（2名）

効 果：技能講習を受講し、安全作業及び操縦方法について学ぶことができ、試験に合格し、資格を取得したことにより現場での作業の効率化や高度化を図ることができた。

感想と課題

：技能講習を受け、安全な業務方法及び解体用アタッチメントの操作方法を学べた。

これからの現場作業に活かしていきたいと思います。

課題としてこの他の特別教育や技能講習にも積極的に取り組み個人の保有する資格を増やし、事業の効率化や高度化を図る必要がある。

⑧ 建設関係のイベントに参加し建設業の魅力を伝える。

実施日：令和5年10月29日

場 所：アイメッセ山梨

内 容：第6回建設まつりに運営補助として参加し建設業の魅力を伝えた。

参加者：従業員（2名）

効 果：子供たちを中心に建設業の魅力を伝えることができた。

感想と課題

：子供たちにバックホウをはじめとする建設機械に触れたり、乗車して体験してもらいました。

実際に乗車して体験することで楽しく学べて興味が出たと思います。また、建設業の役割や仕事内容を知ってもらうことができ、魅力を伝えることが出来ました。

このようなイベントに来年も参加し、建設業の魅力を発信し続けたいと思います。

⑨ 社会貢献活動（はたらく自動車）への参加

実施日：令和5年11月24日

場 所：一宮西小学校

内 容：一宮西小学校の一年生40人に国語の授業に登場するはたらく車を実際に見て、触り、乗る事により、その役割と臨場感を体感してもらい、建設業の役割と姿を伝える。

参加者：従業員（1名）

効 果：小学生に地域社会と密接な建設業の役割、姿を伝えることが出来た。

感想と課題

：建設機械等に触ったり、乗ったりすることは普段なかなか出来ないと思います。

小学生が楽しみながら学ぶことにより、建設業の大切さ、役割を伝えることができ、嬉しく思います。

課題として他の学校でもこのような活動を行い、より多くの小学生に学んでもらい、建設業の役割を伝え、将来の雇用の確保につなげる必要がある。

⑩ 社会貢献活動（はたらく自動車）への参加

実施日：令和5年11月27日

場 所：一宮北小学校

内 容：一宮北小学校の一年生11人に国語の授業に登場するはたらく車を実際に見て、触り、乗る事により、その役割と臨場感を体感してもらい、建設業の役割と姿を伝える。

参加者：従業員（1名）

効 果：小学生に地域社会と密接な建設業の役割、姿を伝えることが出来た。

感想と課題

：建設機械等に触ったり、乗ったりすることは普段なかなか出来ないと思います。

小学生が楽しみながら学ぶことにより、建設業の大切さ、役割を伝えることができ、嬉しく思います。

課題として他の学校でもこのような活動を行い、より多くの小学生に学んでもらい、建設業の役割を伝え、将来の雇用の確保につなげる必要がある。

⑪ 社会貢献活動（はたらく自動車）への参加

実施日：令和5年11月28日

場 所：春日居小学校

内 容：春日居小学校の一年生59人に国語の授業に登場するはたらく車を実際に見て、触り、乗る事により、その役割と臨場感を体感してもらい、建設業の役割と姿を伝える。

参加者：従業員（1名）

効 果：小学生に地域社会と密接な建設業の役割、姿を伝えることが出来た。

感想と課題

：建設機械等に触ったり、乗ったりすることは普段なかなか出来ないと思います。

小学生が楽しみながら学ぶことにより、建設業の大切さ、役割を伝えることができ、嬉しく思います。

課題として他の学校でもこのような活動を行い、より多くの小学生に学んでもらい、建設業の役割を伝え、将来の雇用の確保につなげる必要がある。

(5) 経費の報告

分類	金額 (円)	備考
①の経費	42,000	技能講習の受講費用 42000×1人
	71,400	出席者の人件費 23800×1人×3日
	7,200	実施会場までの燃料費 (ガソリン) ・180×40L
②の経費	48,000	特別教育の受講費用 24000×2人
	142,800	出席者の人件費 23800×2人×3日
	7,200	実施会場までの燃料費 (ガソリン) ・180×40L
③の経費	5,115,000	バックホウ (0.15m ³) 購入費
④の経費	200,000	技能講習の受講費用 100000×2人
	285,600	出席者の人件費 23800×2人×6日
	18,000	実施会場までの燃料費 (ガソリン) ・180×100L
⑤の経費	11,715,000	3Dレーザースキャナー及び付属品購入費
⑥の経費	21,000	技能講習の受講費用 21000×1人
	71,400	出席者の人件費 23800×1人×3日
	7,200	実施会場までの燃料費 (ガソリン) ・180×40L
⑦の経費	52,000	技能講習の受講費用 26000×2人
	47,600	出席者の人件費 23800×2人×1日
	5,400	実施会場までの燃料費 (ガソリン) ・180×30L
⑧の経費	47,600	出席者の人件費 23800×2人×1日
	1,800	実施会場までの燃料費 (ガソリン) ・180×10L
⑨の経費	23,800	出席者の人件費 23800×1人×1日
	900	実施会場までの燃料費 (ガソリン) ・180×5L
⑩の経費	23,800	出席者の人件費 23800×1人×1日
	900	実施会場までの燃料費 (ガソリン) ・180×5L
⑪の経費	23,800	出席者の人件費 23800×1人×1日
	900	実施会場までの燃料費 (ガソリン) ・180×5L
合計	17,980,300	

令和 5 年度分報告書 会社名〔風間興業株式会社〕

5 報告した経費の累計

年度	2の経費	3の経費	4の経費	経費の合計（円）
令和3年度	1,265,500	2,364,400	14,268,626	17,898,526
令和4年度	534,780	1,772,920	10,488,280	12,795,980
令和5年度	524,320	1,690,360	17,980,300	20,194,980
令和6年度				
令和7年度				
令和8年度				
合計				50,889,486

○公正入札違約金額等

(円)

公正入札違約金額 (1)	159,493,536
調停条項で定めた令和3年内支払額 (2)	5,713,178
調停条項で定めた分割支払い分総額 (3)	39,873,384
(1) と (2) 及び (3) の差額 (4)	113,906,974
再発防止・地域貢献に要した経費の累計 (5)	50,889,486
(4) と (5) の差額	-63,017,488

令和3年度	17,898,526
令和4年度	12,795,980
令和5年度	20,194,980
令和6年度	
令和7年度	
令和8年度	
残金	63,017,488